

評価基準

教科	道徳	学年	4学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
道徳で学習すること 道徳ではこんな学び方をするよ 道徳の学習をもっと広げよう	1	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることをとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。	友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているかどうかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自分自身を見つめ、自分の考えとは違う意見を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
1 ここまでもどってこれた、今がとっても幸せ ——池江 璃花子—— 「努力するすがたから感じるもの」 【D 感動、畏敬の念】	1	池江璃花子選手が、病を乗り越え目標を達成させた姿をとおして、ひたむきに努力することに対する考えを深め、気高い姿に感動する心を大切にしようとする心情を育てる。	努力を続けることの大切さに気づき、努力する姿にどうして感動するのかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	努力する姿の美しさを理解し、その気高さに感動することのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
2 目覚まし時計 「自分でできることは自分で」 【A 節度、節制】	1	りかの心情と行動について話し合うことをとおして、自分でできることは自分ですることのよさや難しさに気づき、自分でできることは自分でしようとする心情を育てる。	自分でできることは自分ですることの大切さに気づき、自分でできることを自分ですることのよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自分でできることを自分ですることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
3 つながるやさしさ 「相手を思いやって」 【B 親切、思いやり】	1	しおりの気持ちや行動の変化について話し合うことをとおして、思いやりの気持ちをつなげることのよさに気づき、自分にできることを考えて親切にしようとする判断力を育てる。	思いやりの気持ちをもつことの大切さに気づき、思いやりをもって優しく接することについて、多面的・多角的に考えることができているか。	思いやりの気持ちをつなげていくことのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	4学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
4 かわいくない？ 「自分の気持ちを正しく伝える」 【A 正直、誠実】	1	千里がしたことの問題点と、このあとどうすればよいのかについて話し合うことをとおして、相手のことを考えた言葉づかいの大切さに気づき、誰に対しても誠実に接しようとする実践意欲と態度を育てる。	相手のことを考えた言葉づかいの大切さに気づき、挨拶や言葉づかいなど、相手に対して誠実に対応をすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	日常生活の中で、相手に対して誠実に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
5 カッコいいせなか 「すすんで働く」 【C 勤労、公共の精神】	1	ゆうだいの心情の変化について話し合うことをとおして、みんなのために働くことのよさに気づき、すすんで働こうとする実践意欲と態度を育てる。	みんなのために働くことのよさに気づき、すすんで働くことについて、多面的・多角的に考えることができているか。	すすんで働くことのよさを理解し、みんなのために働くことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
6 ほっとけないよ 「見て見ぬふりはしない」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	ゆかさんを放っておけなかった「わたし」の考えや行動について話し合うことをとおして、正しい判断と行動をすることの大切さについて考え、正しいことをやり遂げようとする判断力を育てる。	正しいと思ったことは自信をもって行うことの大切さに気づき、正しいと思ったことを行うことについて、多面的・多角的に考えることができているか。	よいことと悪いことを判断して、正しいと思ったことを行うことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
7 プロレスごっこ 「いじめをゆるさない心」 【C 公正、公平、社会正義】	1	えみの行動とクラスの変化について話し合うことをとおして、誰に対しても差別したり、偏見をもったりすることなく、公正・公平に接しようとする判断力を育てる。	差別や偏見に対する考えを深め、いじめが起きたときにどう解決すればよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	差別や偏見がいじめにつながることを理解し、分け隔てなく接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
8 雨のバスでいりゅう所で 「きまりがある理由」 【C 規則の尊重】	1	よし子さんの行動について話し合うことをとおして、きまりを守ることの大切さに気づき、きまりを大切に生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	きまりの意義やきまりを守ることの大切さに気づき、きまりを守ることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	きまりを守ることの大切さについて、なぜ大切なのかを自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	4学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
9 どう言えばいいのかな 「相手のことを気づかって」 【B 礼儀】	1	いろいろな断る場面について体験的に学ぶことをとおして、相手を気づかって言葉を選ぶことの大切さに気づき、誰に対しても真心をこめて接しようとする実践意欲と態度を育てる。	相手を気づかって言葉を選ぶことの大切さに気づき、誰に対しても真心をこめて接することについて、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができているか。	誰に対しても真心をこめて接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
10 守りたい自分のじょうほう 「自分のじょうほうを守る」 【A 節度、節制】	1	あきらの行動の問題点について話し合うことをとおして、安全に気をつけることの大切さと難しさに気づき、安全に気をつけてよく考えて行動しようとする判断力を育てる。	自分についての情報を守る際に注意することに対する理解を深め、安全に気をつけることの大切さと難しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。	安全に気をつけ、自分の情報を守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
11 心と心のあくしゅ 「本当のやさしさとは」 【B 親切、思いやり】	1	「心と心のあくしゅ」とはということかについて話し合うことをとおして、本当の親切とは何かを考え、相手のことを思いやろうとする判断力を育てる。	【多面的・多角的に考える】 *親切とは何かということについて理解を深め、相手のことを思って行動するとはということか、多面的・多角的に考えることができているか。 *相手のことを思いやる気持ちの大切さを理解し、すすんで親切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	相手のことを思いやる気持ちの大切さを理解し、すすんで親切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
12 また、試合しようね 「大切なれいぎ」 【B 礼儀】	1	よしあき君の話聞いて、「ぼく」がどう変わったのか話し合うことをとおして、礼儀の大切さに気づき、誰に対しても真心をもって接しようとする実践意欲と態度を育てる。	礼儀の大切さに気づき、気持ちのいい接し方について、多面的・多角的に考えることができているか。	誰に対しても真心をもって接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	4学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
13 命 —せいっぱい生きる— 「大切な命」 【D 生命の尊さ】	1	由貴奈さんが考える「命」について話し合うことをとおして、一つしかない命の尊さに対する考えを深め、精いっぱい生きようとする心情を育てる。	命の尊さに対する理解を深め、「生きること」や「命」について、多面的・多角的に考えることができるか。	命の大切さを理解し、「せいっぱい生きること」について、自分との関わりで考えることができるか。
14 だまっていればわからない 「正直であることの大切さ」 【A 正直、誠実】	1	「ぼく」の立場になって演じてみて、体験的に学ぶことをとおして、正直であることの大切さに気づき、過ちや失敗は素直に改め、正直に明るい心で生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	正直に明るい心で生活することについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。	正直であることの大切さを理解し、うそや偽りのない明るい生活をしようとするについて、自分との関わりで考えることができるか。
15 ティーボールのできごと 「自分のよさをのばす」 【A 個性の伸長】	1	「ぼく」が自分のよさに気づくことができた理由について考えることをとおして、自分の個性や長所に気づき、それを伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	自分の個性や長所に気づき、自分の個性や長所を伸ばすことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。	自分の個性や長所を自覚し、積極的に伸ばしていくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
16 泣いた赤おに 「友達を大切に」 【B 友情、信頼】	1	青鬼が、赤鬼のことを思ってとった行動や、それに気づいた赤鬼の気持ちについて考えることをとおして、友達のことを思い、助け合っていくことよさに気づき、友達と良い関係を築いていこうとする心情を育てる。	友達のことを思い、助け合っていくことよさに気づき、友達と良い関係を築くためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	友達のことを大切にし、良い関係を築いていくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
17 学校のれきし 「感謝の心」 【B 感謝】	1	ひかるたちの感謝の気持ちについて考えることをとおして、自分の生活がたくさんの人たちに支えられていることに気づき、生活を支えてくれている人たちに感謝の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。	自分の生活が多くの人たちによって支えられていることに気づき、生活を支えてくれている人たちに感謝することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。	自分の生活を支えてくれる多くの人たちに感謝の気持ちをもつことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	4学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
18 学校のじまんを大切に 「よりよい学校のために」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	学校の自慢を大切にしていきたいという「わたし」の思いについて話し合うことをとおして、自分の学校によさに気づき、よりよい学校をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。	自分の学校によさに気づき、より楽しい学校をつくることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自分の学校によさを理解し、よりよい学校をつくっていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。
19 絵はがきと切手 「友達だからこそ」 【B 友情、信頼】	1	「友達」に対するひろ子の母と兄の考え方の違いについて話し合うことをとおして、友達とのよりよい関係のあり方について考えを深め、友達と信頼し、助け合おうとする心情を育てる。	本当の友達というものに対する考えを深め、友達とよりよい関係を築くことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。	友達と信頼し、助け合うことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
20 人によって態度を変えるのはだめ？ 「公正・公平な態度でせつする」 【C 公正、公平、社会正義】	1	人によって態度を変えることについて考えることをとおして、公正とは何かについて理解し、好き嫌いとらわれず、公正・公平な態度でいるためにできることは何か、考えようとする判断力を育てる。	公正とは何かについて理解を深め、公正・公平な態度でいるためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	分け隔てなく接することの大切さを理解し、公正・公平な態度で接することのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
21 おばあちゃんとの思い出 「つながり、ささえ合う命」 【D 生命の尊さ】	1	つよしのおばあちゃんが残してくれたものについて話し合うことをとおして、命が周りの人に支えられていることに気づき、命を大切に生きてようとする心情を育てる。	命の大切さに気づき、命が周りの人によって支えられているということについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自分の命は多くの人たちによって支えられているということについて、自分との関わりで考えることができているか。
22 オムライス 「家族でささえ合う」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	「ぼく」に対するお母さんの思いについて考えることをとおして、家族みんなで協力し合うことのよさに気づき、家族と協力し合っって楽しい家庭をつくろうとする心情を育てる。	家族と協力し合うことのよさに気づき、家族への愛情や家族のよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。	家族のよさについて理解し、家族と協力し合うことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
23 見方を変えて前向きに	1	「ぼく」がA君の行いに注意することができたのはなぜか考え	正しいと判断したことを行うことの大切さに気づき、自信をもって行うためにはどうし	正しいと判断したことは自信をもって行うことのよさを理解し、どのように実践してい

評価基準

教科	道徳	学年	4学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
「正しいことはむねをはって」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】		ることをとおして、正しいと判断したことは自信をもって行うことの大切さを理解し、自らもそうしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	たらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	くか、自分との関わりで考えることができるか。
24 ○○のくせに 「相手とわかり合って」 【B 相互理解、寛容】	1	実里と勇太の関係について考えることをとおして、相手のことを理解することの大切さに気づき、相手への理解を深めようとする心情を育てる。	相手のことを理解することの大切さに気づき、相互に理解し合ってよい関係を築くためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	相手のことを理解することの大切さについて考え、よりよい関係を築くためにはどうしたらよいかについて、自分との関わりで考えることができるか。
25 赤飯 「日本の文化に親しむ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	日本の食文化である赤飯について考えることをとおして、わが国や郷土の文化について関心を持ち、それらを大切にしていきたいという心情を育てる。	国や郷土の文化を大切にすることの重要性に気づき、それらを大切にすることはどうか、多面的・多角的に考えることができるか。	国や郷土の文化について考えを深め、どのように大切にしていこうかについて、自分との関わりで考えることができるか。
26 世界の子どもたちのために 「世界の人々に目を向けて」 【C 国際理解、国際親善】	1	マーサちゃんの行動について話し合うことをとおして、日本と他国の文化の違いがあることに気づき、世界の人々や文化への理解を深めようとする心情を育てる。	世界を知ることに気づき、世界の国々を理解することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	世界を知ることに気づき、自分との関わりで考えることができるか。
27 受けつがれてきた命 ——屋久島三代杉—— 「自然のすばらしさ」 【D 自然愛護】	1	三代杉の美しさや不思議さについて話し合うことをとおして、自然の偉大さに気づき、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。	自然や植物の美しさや不思議さに気づき、自然や植物のすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができるか。	自然や植物のすばらしさを理解し、自然や植物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	4学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
28 わかってくれてありがとう 「わかり合えるうれしさ」 【B 相互理解、寛容】	1	互いの考えを交流させた「わたし」とまさとさんについて話し合うことをとおして、互いに理解し、尊重し合うことのよさに気づき、自他の意見を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	友達の意見を尊重することの大切さに気づき、自分と違う意見について理解することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	友達の意見を尊重することの大切さを理解し、互いにわかり合うために大切なことについて、自分との関わりで考えることができるか。
29 ブラッドレーのせいきゅう書 「家族のためにできること」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	請求書にこめられたお母さんの思いについて話し合うことをとおして、家族の大切さに気づき、自分が家族のためにできることを考えて役立とうとする判断力を育てる。	家族の大切さに気づき、家族のためにできることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	家族の大切さを理解し、家族のために何ができるかについて、自分との関わりで考えることができるか。
30 ゆうびんの父 ——前島 密—— 「目標に向かってやりぬく」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	前島密のすごいところについて話し合うことをとおして、目標に向かってやり抜くことの大切さに気づき、自分の目標に向かって努力しようとする心情を育てる。	努力することの大切さに気づき、目標に向かって努力するということについて、多面的・多角的に考えることができるか。	【多面的・多角的に考える】 *努力することの大切さに気づき、目標に向かって努力するということについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *目標に向かってやり抜くことのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
31 十さいのプレゼント 「言葉では表しきれない感動」 【D 感動、畏敬の念】	1	プレゼントにこめられていた父の思いについて話し合うことをとおして、身のまわりに美しいものがあることや美しいものに感動することがあることに気づき、美しいものや気高いものに感動する心をもとうとする心情を育てる。	美しいものや美しいものに感動することのよさに気づき、美しいものに感動する心について、多面的・多角的に考えることができるか。	身近な美しいものに感動することのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	4学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
32 いつも心に「ファイト！」 「ありがとうの気持ちをもって」 【B 感謝】	1	あきらが、自分を支えてくれている人たちに感じた感謝の気持ちについて考えることをとおして、日頃から世話をしてくれている家族や、生活を支えてくれている人たちへの感謝の気持ちを表そうとする心情を育てる。	感謝の気持ちをもつことに対して理解を深め、日頃から世話をしてくれている人たちへの感謝の気持ちを表すにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	日頃から、家族や身のまわり人たちに支えてもらっていることを理解し、身のまわりの人に感謝することについて、自分との関わりで考えることができているか。
33 日本人の手でオルガンを ——山葉 寅楠—— 「ねばり強くやりぬく」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	目標に向かってがんばる人や応援してくれる人について話し合うことをとおして、目標を実現するためには周りの人の励ましも大切であることに気づき、粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。	努力することの大切さに気づき、目標達成のために支え合うことのよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。	目標実現のために他者と関わり合いながら向上していくことのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
34 タイガとココア 「生き物を大切にすること」 【D 自然愛護】	1	タイガとココアの姿や動物園の職員の思いについて話し合うことをとおして、動植物の命のいとおしさに気づき、動植物を大切にしようとする心情を育てる。	自然や動植物を大切にすることのよさに気づき、自然や動物のすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自然や動植物のすばらしさを理解し、自然や動植物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
35 やっぺし 「地いきでのふれ合いを大切に」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	東日本大震災後にボランティアに行った先生の体験と思いについて話し合うことをとおして、地域を大切にすることのよさに気づき、伝統と文化を大切にしようとする心情を育てる。	郷土や伝統と文化を守ることのよさに気づき、郷土や伝統と文化を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	国や郷土を愛し、地域を大切にすることのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
学習をふり返ろう	1	学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。	心に残った話（教材）とそれを選んだ理由、一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて考え、まとめることができているか。	